

令和4年度 西条市立中川小学校学校評価 児童・保護者アンケート結果と対応 <質問項目別>

項目	保護者への質問内容と肯定的な回答の割合		「○」は結果
	児童への	〃	「☆」はその対応など
2	保護者	お子さんは、学年に応じた時間（1・2年 30～50分、3・4年 50～70分、5・6年 70～90分）家庭学習を行っている。 72%	○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、約4%増加し、児童の割合が約17%増加している。
	児童	毎日、忘れずに宿題をし、1・2年 30～50分、3・4年 50～70分、5・6年 70～90分、家で勉強している。 87%	☆ 家庭学習につながるような主体的な学びを促す授業展開を努めています。今後も家庭と学校が連携を密にし、個々の実態に応じた柔軟な量と質の家庭学習にしていきます。
9	保護者	お子さんは、積極的に外遊びをしている。 78%	○ 児童の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、約4%増加しているが、保護者の割合が約5%減少している。
	児童	NSCなどの体力づくりに進んで取り組んでいる。 87%	☆ 教員が進んで運動場に出て、休み時間での外遊びの奨励を行っていますが、まだまだ二極化が見られます。今後とも、校内外における体力づくりの向上を目指して、継続して働き掛けていきます。
10	保護者	歯・口の健康をはじめとする健康教育は、お子さんの身に付いている。 82%	○ 保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）は、約13%増加している。児童の「思う」割合も約30%増加した。
	児童	歯・口や体の健康のことを考え、歯みがきなどをきちんとしている。 98%	☆ 保健だよりや保健室前の掲示等での働き掛けが大きく影響しているようです。今後も家庭と学校が連携を強め、健康的な生活習慣が身に付くよう継続して取り組んでいきます。
13	保護者	P T A活動は、児童の健全な成長と会員の親睦を図るものとなっている。 84%	○ 保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が昨年度と同様の値であるが、児童は、新型コロナウイルス感染症の影響で親子活動や子ども会の行事を中止したため、アンケートを実施できなかった。
	児童	学級P T A（親子活動など）や学団P T A（子ども会行事など）の活動は楽しい。	☆ 今後はコロナ禍の感染症対策を考慮しながら、P T A活動の見直しや改善を行い、児童の健全な成長と会員の親睦を図っていくようにしたいと思います。
16	保護者	お子さんは、該当学年の学習内容が身に付いている。 85%	○ 保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が昨年度と同様の値であるが、児童の割合が約7%増加している。
	児童	この学年で勉強していることがわかっている。 92%	☆ 保護者、児童ともに良好な結果ですが、これに甘んずることなく、各学年で学習内容の定着に一層の力を注いでいきます。家庭での見届けもいただくと助かります。

残りの項目は、肯定的な回答の割合が保護者と児童ともに85%を超えるものであった。